

平成28年度 第1回北見市地域公共交通会議 会議録

◎日 時	平成28年5月10日（火）午後2時00分～午後2時30分
◎場 所	北見市役所 北2条仮庁舎 3F 庁議室
◎出席者	会議委員：浅野目会長、高橋副会長、山村委員、 佐藤（忠）委員、佐藤（浩）委員、広川委員、 桑原委員、長南委員、小林委員、池田委員、 久原委員代理（櫻庭氏）、林委員代理（新岡副所長）、高橋委員、 尾崎委員、高畑委員、佐藤（隆）委員（計16名） 北海道開発技術センター：芝崎氏 事務局：船戸企画財政部次長、田中地域振興課長、 越智地域交通係長、中主事補

開 会

浅野目会長 : 皆様こんにちは。定刻前でございますけれどもご予定された皆さんお揃いになりましたので、ただいまから平成28年度第1回北見市地域公共交通会議を開催させていただきます。

はじめに、4月1日付で、事務局を担当している地域振興課の職員に異動がございましたので、自己紹介をさせていただきたいと思っております。

越智係長 : 4月1日付で地域振興課係長に移動になりました、越智と申します。よろしくお願いいたします。

中主事補 : 同じく、地域振興課地域交通係に配属となりました、中と申します。よろしくお願いいたします。

浅野目会長 : 2名の職員が代わりましたので、よろしくお願いいたしますと思っております。

それでは開会にあたりまして、私の方から一言ご挨拶を申し上げたいと思っております。

本日は何かとお忙しい中、本年度第1回目の北見市地域公共交通会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、委員の皆様には日ごろから当市の公共交通の推進に多大なるご尽力とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。自家用車の普及、少子高齢化、人口減少等、地域公共交通を取り巻く社会環境が変わりつつある中、地域の実情に即した多様な形態の輸送サービスが求められております。様々な課題がございますが、ここに参加されている皆様と共に協議をさせていただきながら北見市の公共交通をより良い方向に進めていきたいと考えておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願いいたしますと思っております。

それでは本日、人事異動等によりまして新たに就任されました委員がいらっしゃいますので、自己紹介をお願いしたいと思います。恐れ入りますが、尾崎委員よろしくお願いいたします。

尾崎委員 : オホーツク総合振興局地域政策課長に4月1日から就任となりました、尾崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

浅野目会長 : ありがとうございます。

それでは会議の成立につきまして、事務局よりお願いいたします。

田中課長 : 本日の出席委員数は、18名中16名です。北見市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立することをご報告申し上げます。なお、北見市ハイヤー組合の松田委員、及び学校教育部の志賀委員につきましては欠席する旨の報告を受けています。また、林委員が欠席のため代理として新岡副所長が、久原委員が欠席のため代理として櫻庭さんが出席していることをご報告申し上げます。

なお、事務局から資料につきまして本日3部ほど訂正がありましたので、差し替えの報告をさせていただきます。レジュメについては、5の報告事項(2)の「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」というのが新しいものになっております。もし回収になっていないものがございましたら、それについては使用いたしませんのでよろしくごお願いいたします。また、資料2の表題のほうで、二次評価経過についてと書いてあるものについては、古いものになりますので、よろしくごお願いいたします。また、資料4のわかバスの運賃につきまして、チラシがついているものについては古いものになりますので使用いたしません。以上3点について説明させていただきました。

#### 5. 報告事項(1) 平成27年度公共交通利用促進について きたみ交通マップ(改訂版)について

浅野目会長 : それではさっそく議事に入っていきたいと思います。本日は報告事項2点、協議事項2点となっております。初めに5の報告事項でございますけれども、「(1) 平成27年度公共交通利用促進について きたみ交通マップ(改訂版)について」、事務局より説明をお願いいたします。

越智係長 : それでは、資料1「平成27年度公共交通利用促進について きたみ交通マップ(改訂版)」についてご説明させていただきます。着席してご説明させていただきます。お手元の資料1「きたみ交通マップ(改訂版)」について、昨年度の北見市地域公共交通会議においてご協議いただき、情報の更新や追加等の作業を進めてまいりました「きたみ交通マップ」の改訂版が3月末に完成し、市民の皆様にご活用いただけますようバスターミナル、まちきた大通ビル4階案内窓口、各総合支所・支所・出張所などに設置いたしましたので、ご報告いたします。

浅野目会長 : ただ今、事務局からきたみ交通マップ(改訂版)が出来上がったということで報告がありました。前回の2月の会議で皆さんにマップを見ていただき、ご意見等をいただきましたが、この件に関しまして何かございましたらご発言願います。きたみ交通マップは公共施設各所にて置いておりますが、皆様方でご利用いただく場合があれば事務局の方に遠慮なくお申し付けください。

#### 5. 報告事項(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

浅野目会長 : それでは次の(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について、事務局より説明をお願いします。

越智係長 : それではお手元の資料2について説明させていただきます。1ページをお開きください。

北見市では、市内バス路線の夕陽ヶ丘線と川東・若松地域のコミュニティバスが事業の対象となります。生活交通ネットワーク計画、北見市では地域内フィーダー系統確保維持計画になりますが、そこに位置づけられた補助対象事業について、より効果的・効率的に推進するために毎年度評価を実施することとなっております。評価手順につきましては、6月末までに交通会議の承認を経て、地域内フィーダー系統確保維持計画を策定、運輸局に提出後、10月から事業の開始となります。バスの事業年度につきましては、10月から翌年9月までとなっておりますので、事業実施後、1月末までに交通会議による一次評価を行った後、北海道運輸局に報告し、2月末までには、交通会議から提出された評価をもとに地方運輸局による二次評価が行われます。評価の結果につきましては、交通会議に対し通知され、必要に応じて事業計画の見直しなどを求めるとされており、交通会議は、評価結果を踏まえ必要に応じて地域内フィーダー系統確保維持計画に反映させるという手順で、評価を実施してきたところであります。27年度事業についての一次評価につきましては、昨年11月開催の平成27年度第4回地域公共交通会議で評価をいただき、北海道運輸局に提出しております。資料の2ページが提出した評価表となっております。なお、27年度事業の二次評価につきましては、長期的視野に立った評価を実施する必要性や、毎年度の二次評価の件数を縮減することによる評価の質の向上等の観点から、要件を満たすものについては、二次評価を複数年度評価として翌年度に一括して行うことができることとされ、本年につきましては、二次評価は実施されておりません。資料3ページが二次評価の隔年実施の資料でございます。

次に4ページにつきましては、北海道運輸局の各担当部長及び学識経験者等の有識者からなる第三者評価委員会の意見等ということで、地域内フィーダー系統についての意見が記載されております。また、平成28年度事業、27年10月から28年9月までの事業分につきましては、29年1月までの交通会議にて一次評価を行うこととなりますので、よろしくお願いいたします。説明は以上でございます。

浅野目会長 : ただ今事務局より事業評価についてご説明がございました。本来では一次評価を昨年行って二次評価に入るということになりますが、制度が変わり毎年度ではなく各年ということになりましたので、来年の2月に行う予定になると思います。制度が変わるというご説明でしたが、この件に関しまして何かございましたらご発言願います。

桑原委員 : 4ページの【地域内フィーダー系統】の二番目に、「自家用車を持っている人がバスを利用しないのは、どこの自治体も抱えている問題」とありますが、その点について私事ですがお話しさせていただきます。私の義理の兄が脳梗塞をおこしましてオホーツク海病院に入院しました。義理の兄の奥様が免許のもっていない方で毎日病院に行かなければならない状況になりましたが、ちょうど家の前から病院までのバスがあったことで非常に助かりました。他人事のように考えていましたが、いざ自分の身内になると、バスの無料制度やバスの路線というのは貴重なものなのだと感じました。

浅野目会長 : 桑原委員、ありがとうございました。  
それでは報告関係についてはよろしいでしょうか。

## 6. 協議事項 (1) 平成28年度公共交通利用促進について

浅野目会長 : 続きまして、6の協議事項に入らせていただきます。始めに(1)平成28年度公共交通利用促進について事務局より説明をお願いします。

越智係長 : それでは、資料3により説明させていただきます。2ページをご覧ください。平成28年度につきましても、昨年度と同様に公共交通の利用促進に取り組んでまいりたいと考えております。

一つ目の取り組みとしましては、平成25年より実施しております夕陽ヶ丘線における利用促進策の結果を踏まえ、同路線での高齢者を対象とした利用促進対策及び新たな路線において公共交通利用促進策を行いたいと考えております。また、それらの利用促進策の効果検証も行いたいと考えております。2つ目としましては、子どもを対象とした利用促進の実施です。昨年度と同様に、市内のイベントにて、環境と交通の学習や、バスの乗り方教室、交通クイズなど、子どもが公共交通に慣れ親しんでもらえるような方法で行いたいと考えております。3つ目としまして、ニュースレター「きたみ交通便り」の発行・配布です。最後に4つ目としまして北見市公共交通計画の見直し検討であります。交通計画に掲載されている各種データの更新、これまでの事業効果等の検証アンケート調査を行い、その結果も踏まえ、委員の皆様のご意見等もいただきながら計画の見直し作業を進めていきたいと考えております。各事業の具体的な内容につきましては、これまで同様に幹事会の中で検討することとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。説明につきましては、以上でございます。

浅野目会長 : ただ今事務局の方から、平成28年度利用促進策ということで、一つ目として特定路線を対象とした利用促進、それから子どもを対象とした利用促進の実施、ニュースレターの発行、北見市公共交通計画の見直しの四つを予定しているということです。内容については幹事会で具体的に整理していきませんが、事務局の説明に対して意見等ございましたらご発言願います。

小林委員 : 2ページ(1)②夕陽ヶ丘線以外の特定路線を対象とした利用促進策の実施のところで高齢者に向けての利用促進があると思いますが、これを常呂や温根湯でやることはできないのですか。規模は小さくなるかもしれませんが、車で長距離移動する人たちを対象にしてもいいのではないのでしょうか。

田中課長 : ただ今ご質問いただきました高齢者の利用促進についてですが、昨年は夕陽ヶ丘線をご利用の高齢者の方々を対象に、初めて実施させていただきました。今後も3月のニュースレターの利用促進の部分で、希望される団体がありましたら事務局である北見市の方にご連絡ください。日程等調整し、可能な限り対応したいと思います。

小林委員 : わかりました。

浅野目会長 : 常呂、留辺蘂の方から要望があれば対応していくということでお願いします。他に発言がないようならば、この件については幹事会の方で細かく進めていくことにいたします。

## 6. 協議事項 (2) わっかバスの運賃について

浅野目会長 : 続いて(2)わっかバスの運賃について、事務局より説明をお願いします。

越智係長 : それでは、資料4により説明させていただきます。  
わかかバスの運賃につきましては、平成26年1月16日に開催された北見市地域公共交通会議において、1ページのとおり承認いただいておりますが、北見市バス乗車証の取り扱いについて、協議内容に盛り込まれていなかったことから、「北見市バス乗車証」をお持ちの方は運賃を「無料」とすることについて、交通会議において確認させていただくとともに、わかかバスのチラシ内容についてもそれに伴い変更させていただきたいと考えております。説明につきましては、以上でございます。

浅野目会長 : わかかバスの運賃について説明がありましたが、わかかバスは協定運賃という点で公共交通会議の中で運賃を決定し、最終的に運輸支局に申請していく流れになります。北見市で行っている高齢者、障がい者に対する助成金の関係で、券を持っている人は無料で乗車できるという記載がないという指摘が運輸局の方からあり、もう一度提唱していただきたいという話しになりました。本日はその旨を確認して事務局で手続きを取らせていただきたいと思っております。乗車券の名称は変わりましたが、券を持っていれば無料で乗車できるということで運輸局と事務局とで最終的な整理をし、手続きを進めさせていただきます。

## 7. その他

浅野目会長 : 続きまして、7のその他に入りますので、委員の皆様には何かございましたらご発言をお願いしたいと思います。

池田委員 : はい。

浅野目会長 : それでは池田委員お願いします。

池田委員 : 北見警察署の池田です。公式の質問ではないのですが、バスの料金について高齢者の割引などの関係を取り扱っている部署はどこになるのか教えていただきたいです。

高畑委員 : 私ども保健福祉部でございます。

池田委員 : わかりました。それについて制度などを教えていただきたいと思っておりますので、後ほど個別でお話しさせていただきます。

浅野目会長 : その件については保健福祉部で対応をお願いしたいと思います。  
他に何かございましたらご発言をお願いします。ないようでしたら事務局のほうで何かございますか。

田中課長 : 次回の第2回北見市公共交通会議については6月9日(木)午後3時30分からを予定しております。案件につきましては例年ご協議していただいている、夕陽ヶ丘線及び川東・若松地域を運行しているコミュニティバスの地域内フィーダー計画を予定しております。ご案内につきましては改めて送付させていただきますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

浅野目会長 : 事務局からございましたとおり、次回の開催は6月9日(木)午後3時30分からを予定しておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。  
全体通して何かお気づきの点等ございませんでしょうか。

小林委員 : バスは公共交通機関で必要なものですが、バスと同じようにJRも必要であり、バスとJRはリンクしていると思います。それに対しての北見市の考えが見えないと私は思

います。北見市はJRとバスとの関連付けをどう考えているのでしょうか。

それがわからないと特急列車が留辺蘂に止まって温根湯とのバスとの接続が悪いということにもならないし、駅もJRもいらないのであればドリーミントオホーツク号に力を入れていけばいいと思います。

船戸次長 : 現在のJR北海道の課題を通じて、石北線の関係など様々な影響が出てきています。管内の部分については、金華駅の駅の廃止、留辺蘂駅の無人化、さらには遠軽町で駅の廃止、美幌町の駅の無人化などの影響がございます。他の部分につきましても、特急の関係で一部車両の更新に多大な費用が掛かると新聞報道がなされています。北見市として特に管内におけるJRに対する考え方というのは、地域の交通を守るという観点で重要なこととして捉えております。駅、列車の関係におきまして、JRや道に対して様々なネットワークを通じて存続の要望については行ってまいりました。しかしJR北海道は株式会社でありますので、あくまでも経営判断の中でやむを得ず行っていることと思います。市としてもできる範囲のことはしておりますが、現実問題として市が要望したとしてもその通りにはならないこともあります。その中でも依頼を行った結果、無人化の券の販売については民間の方々のご協力をいただきながら一部存続することができたという結果もございます。以上が市としての対応となっております。

小林委員 : わかりました。

浅野目会長 : この会議自体が道路交通法に基づいて設置されているということもありますので、小林委員には大変申し訳ないのですが、具体的にその件についてここで議論することにはなりません。ただ、今あったように市として何もしていないということではなく、いろいろな動きをしているということをご理解いただければと思います。

他に何かございますか。

長南委員 : 一つ質問してもよろしいでしょうか。

浅野目会長 : はい、長南委員お願いします。

長南委員 : 今年度北見市地域公共交通計画の見直しをすることとなっておりますが、これに関しても今言ったような道路交通法の枠組みの中での見直しと考えてよろしいのでしょうか。

田中課長 : 計画の部分につきましても公共交通会議の中で合議させていただきますので、考え方としては長南委員のおっしゃったとおりです。

長南委員 : わかりました。小林委員の言われたとおりJRの問題が非常に大きな問題としてあると思いますし、少なくとも特急オホーツクは来年にも減便となっております。これからの石北線の問題について市民レベル、公共交通に関する方含めてどのように対応していくのかという点で、この場ではないとしても北見市として議論していくことが必要だと思っておりますので、何かしら市民の声が反映される場を設けるべきではないかと思っております。

船戸次長 : 様々なネットワークの中で、北見市だけの話ではなく広域に関する事なので、オホーツク振興局を中心に管内の自治体が集まって様々な対策を検討しています。さらに管内に期成会があるのでそこをベースとしてJRと道との取り組みさせていただいています。

長南委員 : それは了解しています。行政部分の問題だけではなくて、市民などの利用者や公共交通に関わる関係者含めてのこのような場を検討されてもいいのではないのかなと思いま

す。

浅野目会長 : 事務局の方から行政レベルとしてのお話がありましたが、長南委員からはもっと幅広く意見を聞けるような場が必要ではないかということで、ご意見として受け止めたいと思います。

長南委員 : お願いします。

浅野目会長 : 他にご意見はございませんでしょうか。

一同 : ありません。

浅野目会長 : 以上ですべての協議事項に関しまして確認をさせていただくことができました。ありがとうございました。

それでは以上をもちまして、平成28年度第1回北見市地域公共交通会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。(14:30)